

令和6年度第4回「OPEN！みんなで話そう！やまさき市長とともに」概要

日時	令和7年2月15日(土)10:00~11:40
場所	フレミラ宝塚 音楽ダンス室
テーマ	シニア世代と共に行う地域での子育て支援について
出席者	市民10名
	山崎市長、市民交流部職員4名、子ども未来部職員4名

1. 開会

- (1) きらきらひろば見学
- (2) 市長挨拶
- (3) 本日の流れについての説明
- (4) 自己紹介

2. 市民と市長との意見交換

- (1) 子ども未来部によるテーマの説明(10分程度)
- (2) 意見交換

ア 【司会】本日のテーマである「シニア世代と共に行う地域での子育て支援について」についてご意見をいただきたい。

イ 現在育児休暇中で、発達支援の勉強をしている。イベントを通して子どもたちとお母さんが遊べる場所を作りたいと思っていて、西谷でイベントの開催を検討している。木を切るといったことをシニア世代の方々にも手伝ってもらいながら、どの世代も楽しむことができるイベントにしたいと思っているため、今日参加させていただいた。

ウ 【市長】シニア世代の方々も子どもたちに木に触れてほしいと思ってイベントを開催して下さる方もいらっしゃる。その方も西谷でそういったイベントを開催すると喜んでもらえるのではないかと思います。シニア世代の方々となぐことは行政の役割だと思う。

エ 西谷でボランティア活動をしている。自然の家でも様々な子どもたち向けの体験イベントをしている。そういった体験に携わることがシニア世代にできることだと思って活動している。世代間交流ができる機会を市内に広げていくことができれば良いと思う。

オ 【市長】子どもたちに本物の体験ができる授業を取り入れてほしいと教育委員会にお願いしている。その体験の中で生き物への接し方や子ども同士の交流の仕方を学んでいく。西谷の自然の中で子どもたちが交流をしながら学べる機会を増やしたいと思っている。

カ まちづくり協議会で活動している。子育て支援のイベントを企画するが、届けたい世代にうまく情報発信ができない。企画者と参加者のマッチングがうまくいっていないのが実情である。情報の発信の方法や世代によって情報収集をする媒体は色々だと思うが、やりたいと思ったことに対してこんな応援ができるという情報が集約されていないため、知らない人はたどり着

けていない。子育て支援に関する情報だけではなく、市の情報も同様のことだと思う。情報発信をする媒体がありすぎて、情報を発信する側も受け手側も混乱している。発信がうまくいけばシニア世代と子育て世代がつながると思う。シニア世代がイベントを開催して、子育て世代が口コミなどで広めてくれることが一番効果的であると思っている。「宝塚ふぁみりい劇場」を開催していて、未就園児の親子を対象に月2回「プチふぁみ」というものを開催している。参加者同士は最初顔見知りでなくても、1年通して活動をすると仲間になって、保育園や幼稚園に入園する前に子どもたちが遊ぶことが重要であると感じている。シニア世代は子育て世代の話を聞いてアップデートしていくことができ、子育て世代にまちの情報を共有することもできる。そういったことを通して、相談事や困りごとを解決、解消していくことができると思う。娘が里帰り出産をした際に、宝塚市の保健師さんの訪問支援がとても心強かった。そういった制度の情報はシニア世代には届いていないので、情報発信の方法は工夫が必要だと思う。

- キ 【市長】世代によって情報収集ツールが異なっているため、情報発信をする媒体を検討することが難しい。その部分を解決するために、地域のイベントをフリーで掲載できるサイトを広報課が準備している最中である。従来は市がイベント情報を掲載していたが、そのサイトは地域の方々も掲載していただくことが可能になる。自分の地域以外のイベント情報も収集することができる。また、子ども未来部が Instagram を開設して、子育て情報だけでなく、市内のお店の情報も発信している。こういったツールを有効に活用していきたいと思う。
- ク 定年後、マジックや子ども工作の講習会や、学童保育のサポートも行っている。学童保育でマジックや工作をすると子どもたちはとても喜んでくれる。自分の活動を様々な媒体で紹介してもらい、広く周知してもらった。プレミア宝塚では「一芸先生」、公民館では「公民館先生」の活動にも協力しているが、広報が不十分で、このようなイベントがあることを知らない方が多い。アンケート結果では、月数回の開催を希望する回答が多いため、市からもう少し広報活動を行っていただきたいと思う。
- ケ 【市長】いただいたご意見は教育委員会の担当課に共有をする。市長は教育委員会に介入ができないとなっているため、この場で断言はできないことはご了承いただきたい。この登録制度については、社会教育の分野で、提供する側の制度であると思う。教育委員会では、コミュニティスクールという地域全体で子どもたちを育てようという活動を行っている。この制度に登録をいただいて、夏休みや放課後、学校現場のお手伝いをさせていただいている。教育委員会が依頼する分野を決めており、その分野のお手伝いができるという方にご協力いただいている。夏休みに子どもたちの支援を行っていただく放課後児童クラブといった制度もある。公民館の登録制度は指定管理者の事業であるため、市でコントロールすることができない。
- コ 公民館は指定管理者制度の運用であったとしても、市全体の話であるため、市の意図を指定管理者に理解してもらわないといけないと思う。目的に沿っていないものになっているならば、一定指定管理者へ話はしないといけない。
- サ 【市長】市から指定管理者へこういうことをしてほしいということをお伝えした上で、その範囲内で指定管理者が自由に事業を行うというのが指定管理者制度である。また、公民館の管

轄は教育委員会であるため、この場で確定的な話ができないが、目的に沿っていないということが明確であれば教育委員会から公民館へ指導が入る。

- シ シニア世代から子育て支援に貢献したいという声があるのだから、最適なシニアへのアプローチ方法や情報発信の方法を検討いただきたい。シニア世代は退職後、時間や経験はあるため活躍できないのはもったいない。どのように経験を活かせるかということを考えていらっしゃる方からのご意見だったと思う。
- ス 宝塚市の保育料と水道料金が低いという声の子育て世代からの声が多くある。金銭的な面から心の余裕がなくなり、みなさんがやっているような地域の活動に参加する余裕もなくなる。また、保育園の入所を待っている方もいらっしゃると思っている。
- セ 【市長】水道料金に関して、宝塚市は阪神間の地域では下から1・2番の料金となっている。最近、水道局から「水道局だより」を発行している。料金のことについて記載しているため、見ていただけたらと思う。
- ソ 【子ども未来部】保育料は国で一定決まっている。宝塚市の保育料は国の基準の8割程度の金額で、国の基準よりは安くしている。しかし、所得に応じて金額が変わってくる。待機児童については、希望される保育園によって入園を待っていただいている方もいるが、以前のような待機児童数が大変多かった状況からは改善している。
- タ 水道料金について、料金設定の仕組みが変わったため以前に比べたら料金が上がったように思う。住民への説明は不十分だった。保育料や給食費も上がっている。
- チ 【市長】水道料金の値上げについては、水道局が住民説明会で説明を行い、「水道局だより」でも料金値上げの事について記載をしていた。給食費は、物価が高騰するなか、子どもたちに十分な栄養のある給食を食べさせたいという思いはある。PTAの方々とも協議を重ねた上で値上げをしたが、給食費の値上げ分は市が負担をしている。保育料について、宝塚市は国の基準の8割程度の保育料にしている。細かく所得制限を設けて、金銭的に困っている方に対しては手厚く支援を行っている。私立保育所には、保育の質を担保するために補助金を出している。安心して子どもを預けていただくためには、安心できる環境を整えないといけないと思っている。市はバランスをとりながら、市民の生活に不便が起きないように、市民の方々のご意見を参考にしながら財源配分を行っていく。
- ツ 子育て支援の活動を始めて14年になるが、子どもは地域で育つと言いながら、顔見知りのお母さん同士が少ない。1年ぐらい継続的に活動に参加してくれるようになると、お母さん同士のつながりが生まれて、友達になっている。最近、私たちの活動もまち協や自治会の方々に知ってもらって、まち協や自治会から地域のイベントの際に声をかけてくれるようになった。先ほどの話にもあったが、マッチングが難しい。お母さん同士、子ども同士の交流が希薄化しているからこそ、地域内で交流ができて、子どもを育てる環境になれば良いと思う。
- テ ファミリーサポートセンターでの提供会員制度は大変いいモデルだと思うが、シニア世代にどのようにして情報発信するかが課題だと思う。SNSの活用方法等、アイデアを出してマッチングの方法を検討できたらと思う。シニアの知識や経験を活かせるようにフレミラの方々には

頑張っていたきたいと思う。

- ト 【市長】お母さん同士は SNS でつながっていても顔を合わせたことがないという方がいらっしゃる。顔を合わせたことがあって交流ができていれば新たな発展につながると思う。今は地域でマッチングをしていただいているが、今後は市の情報発信のサイトを活用して、必要とされている方々のマッチングができるように仕組みを考えていきたいと思う。
- ナ 宝塚市の水に PFAS が含まれているという情報を見たことがある。最近水道水がおいしくないとすることもあるため気になっている。
- ニ 【市長】宝塚市の水は安全であるため安心していただきたい。水道局も対応しており、広報誌でも水質について説明をしているため見ていただけたらと思う。
- ヌ 以前に子育て支援担当保育士をしていた際に保育していたお子さんのお母さんが、ファミリーサポートセンターで、今子育て支援の活動をされていることを知った。自分が支援してもらったから今度は自分が支援しようと思ってもらっていたことが嬉しかった。今、皆さんがされている子育て支援の活動が将来の子育て支援につながると思う。
- ネ 【市長】宝塚市の子育て支援が支えられてつながっていることは大変嬉しい。これからも支援いただけると有難く思う。

3. 閉会

(1) 市長挨拶